

福祉体験を実施する前に

～事前に検討しておきましょう～

○ 開催日時及び目的

○ 指導者／講師(学校関係者・地域・サークル・社協)

○ 対象学年

○ 所要時間(授業全体及び体験に要する時間の振分け)

○ 会場(体育館・校舎内・教室・屋外)

※安全に活動できる場所ですか？広さ・設備等活動に合った場所ですか？雨天時は想定されていますか？

○ 最大人数(クラス単位・学年単位・親子)

※活動時のグループ編成は事前に行いましょう。

○ 当日の流れ(体育館で実施の場合、事前の準備等必要になる為、前後の授業も考慮しましょう。)

また体験終了後は、子どもたちも一緒に片付けをしましょう。)

※事前打合せは、当日スムーズに体験を進める上で、大変重要なものとなります。

※無理のない計画を立て、役割分担を明確にしましょう。

※各種体験をいっぺんに行おうとすると…みんな**パニック**に！

○ 体験を学校外で安全に行うポイント

※学校外で体験活動を行う場合は、複数の教師が協力して行いましょう。場合によっては、PTAや地域の方に協力をお願いすることも必要です。

※道路や歩道の片側を一直線で通りましょう。

※目的地や交代場所だけでなく、体験終了後、全員が揃うまで何をして待てば良いかを具体的に指示をしましょう。

※目的地の選び方は、徒歩で往復3～4分程度の距離を選ぶのが無難です。この場合、車いすでは往復10分近くかかってしまう可能性があります。

(徒歩でかかる時間≠車いすでかかる時間)

○ 資材・材料(事前購入や社協等からの借用等。当日資料の印刷)

※福祉機材等を借用する場合、事前に必要数を確認し、専用の借用依頼書等がある場合は、早目に提出をしましょう。借用品の運搬は、基本的には主催者が行ってください。

○ 指導者依頼の有無

※講師等の送迎方法及び交通費・材料費等を事前に確認をしましょう。

○ 連絡窓口

※スムーズな打合せ等を行う為、連絡窓口(担当教諭)を決めておきましょう。



依頼時の“六つの心得”

常陸太田市社会福祉協議会では、福祉体験に協力していただける講師・ボランティア団体等をご紹介します。福祉体験を計画される際は、お気軽にご相談下さい。

なお、福祉体験をすすめる上で、事前打合せ等が不十分な場合、体験がスムーズにいかなかったり、当日になり慌ててしまうこともありますので、以下の点にご留意下さい。

一. 体験依頼は余裕をもって

体験依頼後、講師等へ日程調整を行いますので、日にちに余裕を持って(1 ヶ月前までに)ご依頼下さい。講師によっては、仕事や通常の活動を休んで行う場合があります。

なお、「〇〇月頃に依頼を予定している」といった場合でも結構です。

二. 打合せは、時間をかけて十分に

福祉体験は事前準備が重要です。当日の日程・会場・資料・資材・子どもたちの動き等の打合せを十分に行ってください。

三. 「目的」や「ねらい」をはっきりと

福祉体験を行う上での、「目的」や「ねらい」をお伝えください。

※何について学び、どんな活動へつなげていきたいのか？ ただ体験するだけでいいのか？

四. 教師は授業のプロデューサー

福祉体験ご依頼の際には、講師がどのような「役割」を果たしたら良いのか等、先生の考える授業の全体像と流れをお伝えください。また、体験当日は打合せを行った教師が同席してください。

五. 百聞は一見にしかず

先生が率先して体験に参加してください。先生が「恥ずかしい」と感じれば、子どもたちも同じ態度をとります。

また、先生が事前に体験をしていると、子どもたちへの事前・事後指導に説得力が増します。

六. 皆さんの声がボランティアへの応援歌

体験終了後は、講師(福祉体験ボランティア等)へ当日の感想等をお寄せください。今後の励みやより充実した活動へとつながります。